



社会福祉
法人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

第51号 2010年(平成22年)3月31日
発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会
〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15
TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005
URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>
E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループ
あれこれ

高齢者介護支援グループ 「ステッキ」 編

市社協登録ボランティアグループ「ステッキ」は、高齢者や高齢者を介護しておられる方々の支え(＝杖)になればと名付けられたグループです。活動内容は、主に個別支援と小・中学校でのインスタントシニア体験学習です。

グループの設立当初より、高齢者の支えになればと活動を続けてきましたが、今まさに高齢化社会に突入し、メンバー自身も高齢化してきました。これからを担う若い方に高齢者の感覚を知っていただく為に、重りや白内障体験用ゴーグルなど色々な装具を使っているインスタントシニア体験にも力を入れています。

高齢者の支えとなると同時に、自分自身の問題として、一緒に考え活動してみませんか？



↑ インスタント
シニア着用中

ボランティア訪問記～施設見学～

木枯らし一番が吹いた寒い11月18日、「ステッキ」のメンバーは宝塚市仁川デイサービスセンターを訪問しました。1日に利用者定員45名をスタッフ10～11名で介護している大規模型1の施設です。年中無休でももちろん年末年始も休まずやっているということに驚きました。ボランティアの方がたくさん参加されており、見学の当日もテラスに面した明るいコーナーでは陶芸。また、キーボードの生伴奏に明るい歌声、もちろんボランティアさんが中心になって。お部屋の一角にある喫茶コーナーも半分くらいの日をボランティアで担当されています。ゆっくり休んでおられる利用者の方もいらっしゃいました。見学会の終り頃ちょうど車で買い物に出かけておられたグループの利用者さんが帰って来ました。「多くのボランティアに支えられている」との施設長さんの言葉が印象に残りました。

☺活動に興味のある方は…

☆定例会

第3水曜日 13時30分～15時30分

ボランティアセンター「ぷらっと」

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」

☎ 06-6848-1000 FAX 06-6848-1005



豊中ボランティアフェスティバル & ヒューマンバザー

11月3日（祝・火）、豊中市すこやかプラザにて上記のイベントを開催し、約600名のみなさまにご来場頂きました。昨年は千里のコラボで開催しましたが、今回は市社協事務局が移転して初めての「すこプラ」での開催となりました。

福祉の店「なかま」の出張店や小曽根病院第1デイケアによる出前喫茶「ローズガーデン」などもあり、盛りだくさんのイベントができました。



ファミリーボランティア 体験コーナー



↑ 点字体験



↑ 折り紙コーナー

1階の検診室前ロビーと2階のぷらっと、さらに屋外のスペースも使ってスタンプラリー形式の体験コーナーを実施しました。

体験の内容は8種類で、アイマスク・車いす・点字・手話・折り紙（子ども遊び）・インスタントシニア・ユウあい号試乗・ホームページ閲覧と、盛りだくさんでしたが、全てのスタンプを集めようと挑戦しておられる方もいらっしゃいました。親子連れで体験していただいたり、楽しみながらボランティア活動を知っていただく機会となれたのではないのでしょうか。

ボランティアグループ の感想

＜ユウあい号試乗体験コーナー＞

豊中アッシーはリフト車を使用して、車いすでの試乗体験を担当しました。屋外での体験で、晴れていても強烈な寒風が吹き、上着の上にさらにボランティアグループのジャンパーを着ていましたが全く効果の無いほど寒かったです。また、手の空いている時には自転車や車の整理も行いましたが、午後からの更なる寒さに外に出していた体験の受付を建物の中に入れるほどでした。

しかし、メンバーよりも寒さに耐えながら体験をして下さった20名以上の皆様には頭の下がる思いでした。体験者の人数は例年の3分の1と少なかったですが、メンバーはいつも以上に頑張っており組んだつもりです。寒い中、体験をして下さいましたみなさま、本当にありがとうございました。



↑ 車いすに乗ってリフト車体験

ステージ発表

ステージ発表



ステージ発表は午後から、1階の多目的室にて行いました。オープニングで元気いっぱいのキッズダンスに会場中が盛り上がり、大人顔負けのダンスに感心しきりでした。その後、福祉の日ポスター入選作品の表彰式があり、市長と議長による「ボランティアかるた」(※P. 4 関連記事)の発表と続けました。

ステージ発表は、多胎児親子のサークル支援グループ「ツインズハート」の双子とお母さんによる合唱、ちょボラサロン「えがお」のメンバーでフラダンス、ゆめゆめクラブのマジックショー、「小さな手」の手作り介護用品ファッションショー、「さわやか」の歌体操、「NPO法人ゴールデンベル」の大正琴演奏と日頃の活動の成果を見せていただけました。

最後に辻イト子さんによる講演会『障害のある家族と明るく元気にパワー全開』がありました。辻さんは浪速のCM女王としてテレビや映画で活躍される一方で、知的障害者の長女を育てられ、実父の介護も経験されました。「いつも明るく」をモットーに前向きに人生を頑張っておられ、ご苦労されたお話や、テレビ等に出演されるようになったきっかけなど、笑いの絶えないあっという間の1時間でした。

エンディングは恒例の手話コーラスで、今回は「手話サークル ゆうなぎ」にご協力いただきました。



ヒューマンバザー

ヒューマンバザー

バザーは2階のデッキ広場で行いました。屋外のため気温は低かったですが、来場者の熱気で寒さも吹き飛ばす様子でした。バザー物品の募集にたくさんの方からご支援いただいたおかげで、売上総額150,010円となり全額「福祉の店なかま」に寄付することができました。ありがとうございました。



開始前から
長い列がで
きるほど盛
況でした！

豊中ボランティアかるた



←ボラフェスでの展示発表



市社協では市内のボランティアの方々より、ボランティア活動への想いを込めた「豊中ボランティアかるた」を募集し、ボランティアフェスティバルで発表させていただきました。

総数191点の応募があり、どの作品も想いのたくさんつまった素敵なものばかりでした。そこで、この想いをもっとたくさんの方に届けることができるよう、正式に「豊中ボランティアかるた」として製作することとなりました。読札を46点選出し、絵札を大阪府立桜塚高等学校の美術専攻生のみなさんにご協力いただきました。絵札のイラストは、かるたにこもった気持ちを生徒のみなさんの感性で自由に表現していただき、個性あふれる作品で豊中のボランティア活動を知っていただくにふさわしいかるたが完成しました。(写真右)

イラストの原画展なども今後開催予定ですので、楽しみに！

桜塚高等学校 「学校保健委員会」開催

2月4日(木)桜塚高校で「ボランティアを考える ～パート2～」をテーマに校長先生をはじめ、PTA会長、学校関係者等のみなさんが多数出席し学校保健委員会が開催され、市社協からもオブザーバーということで参加させていただきました。



ボランティア活動に取り組み2年目となる今年は、文化祭でのボランティア体験ブースの設置協力(手話や点字の体験など)、盲導犬と一緒に生活をされている当事者の方(石川さん)へのインタビューや、視覚障害のある教育センターの三上洋先生との交流など、1年間を通じボランティアについての学習を深めてこられた成果の発表が行われました。

石川さんへのインタビューの中で、「盲導犬と一緒にいて一番苦労したことは何ですか?」という生徒の質問に、「家の中では犬の生活リズムをつかみ、馴れること、家の外では犬に接する周りの人との接し方に苦労しました。ただ、今では体の一部であり、なくてはならない存在です。」との報告にみなさんうなずかれていました。

また、三上洋先生が話された「道案内をしていただく際には『次は右、左』という細かい指示よりも、色んな楽しい話をしてくれた方が僕は楽しく歩くことができる」などのご意見から、当事者の声を直接聞く事により、さらに深く学ぶことができました。

だんだんとボランティアの理解が深まり、様々な活動に取り組んでいただいている桜塚高校のこれからの活動に期待したいと思います。

団塊塾とよなか

団塊の世代前後の方がセカンドライフを地域で豊かに暮らしていただく為のきっかけ作りとして実施しているこの講座も今年度で3回目となりました。内容は、10月9日・16日・11月6日の講座とボランティア活動の体験がありました。8名の参加者でしたが、活発に交流していただけました。

さらに、講座を修了されたメンバーで2月10日・17日と布ぞうり作りの講習会を開催しました。準備の都合で10名程度の参加となりましたが、20名以上の申込みをいただき、嬉しい反響でした。団塊塾のメンバーも事前に作り方を勉強したりと積極的に活動していただきました。

また、3月3日は団塊世代向けの男性クッキング教室を大阪ガスクッキングスクール千里で行いました。男性ばかり28名の参加で、人生初料理という方がほとんどでしたが、みなさん奮闘され無事に5品のメニューを完成させることができました。参加者同士の交流もはずみ活発な講座となりました。



↑ 布ぞうり作成中



↑ 男性シニアクッキング

災害支援訓練

→ ボランティア
受付の様子



← 救命訓練

1月16日(土)、豊中市すこやかプラザにて災害支援訓練を実施しました。この訓練は、阪神・淡路大震災以後、災害時の支援体制を充実強化させることを目的に毎年実施しています。

訓練は市社協災害支援ネットワーク加盟のボランティアグループと市社協事務局で開催し、当日は、豊中市全域で震度6強の地震が発生したという想定で「福祉救援対策本部」を設置しました。その後、「災害ボランティアセンター」のシミュレーションでボランティアの受付から支援ニーズの把握や活動の割り振りなどをグループごとに分かれ訓練しました。また、福祉避難所に指定されている服部老人デイサービスセンターと原田老人デイサービスセンターとも連携して訓練を行い、被災者の受け入れ体制など今後の課題も実感させられました。福祉避難所は市内15ヶ所で指定されており、災害時には一般的な避難所では生活に支障をきたし、何らかの特別な配慮を必要とされる方等を対象として設置・運営されます。今年度は東豊台校区福祉委員会の災害訓練とも連携し、東豊台小学校からアマチュア無線クラブの方々のご協力で被災状況などの映像を本部に送信するという訓練も行いました。

また、2010年は阪神・淡路大震災から15年目を迎える年であり、震災の記憶を風化させてはいけないという気持ちから映画の上映会を訓練終了後に開催しました。「地球が動いた日」というこの映画は、震災をテーマにしたアニメーションで子どもにも分かりやすい内容なので、近隣の小学校にも呼びかけ、子ども達にも鑑賞していただきました。



地域福祉活動支援センター



地域福祉活動支援センターは2009年4月に市立老人デイサービスセンター（桜井谷・東豊中・原田・高川・庄本）内に、地域福祉活動を推進していくことを目的に設置されました。各センターでは、福祉なんでも相談窓口のバックアップ機能の強化、ボランティア講座や介護講座など、ボランティア支援拠点として地域福祉の担い手づくりを応援しています。

**センターでは、ボランティアグループの皆さんのご協力で
ボランティアはじめま専科！！各講座を開催しました。**



《桜井谷》
「さわやか」さんに来て頂き歌体操講座をしました。その後毎月開催をすることになりました。
毎月第1金曜日
13:30～15:00
開催しています。どなたでもお気軽にご参加下さい



《東豊中》
団塊塾とよなかの皆さんに来て頂き、「布ぞうり講座」を開催！！大賑わいでした。

《原田》
フラダンス講座を開催！！参加者から数名デイサービスかき氷大会で踊りを披露のボランティアをしました。



《庄本》
「小さな手」の皆さんに来て頂き手作り介護用品作成講座を開催し、にぎりっこを作りました。



《高川》
点字サークルつくしんぼの皆さんに来て頂き「点字講座」を開催！！点字の名刺やハガキ作りをしました。

☆今後も、様々な講座や作品展の開催を予定しています。ぜひ来て下さいね！！

詳細などお問い合わせは、
市社協事務局
電話：6848-1279
までご連絡ください



第1回すこプラまつり

すこやかプラザは【健康・福祉・子育て支援】の施設です！



2月13日(土)10時～15時、上記のイベントを行いました。このイベントは、豊中市すこやかプラザのオープン1周年という機会に、より多くの市民のみなさまにこの施設を知っていただこうと企画したものです。

主催は、「すこプラ」に事務局をおく、豊中市健康支援室(1階)・豊中市子育て支援課(2階)・市社協(2階)の3機関が合同で実施しました。

今回は、子育て支援をテーマとし、メイン会場では歌遊び(写真上)やキッズダンス、また高齢者向けストレッチ体操なども行いました。個別のコーナーではクイズラリーを取り入れ、楽しく参加していただけたのではないのでしょうか。市社協からは、ボランティア体験で点字・手話・インスタントシニアのグループの方にご協力いただきました(写真中央)。さらに、福祉の店「なかま」からも出張販売していただき、手作りのクッキーなど子どもさんにも好評のようでした(写真下)。



2月26日(金)豊中市すこやかプラザで、市社協の登録ボランティア・ボランティア団体連絡会加盟グループ・Vネットとよなかを対象に開催しました。

現在多くのボランティアが市内の福祉施設などで活動されていますので、今回は『施設でのボランティア活動を楽しんでいくために』をテーマに大阪府立整枝学園の後藤光弘さんにご講演いただきました。

お話の中で「課題を持っている人を一人にさせない事、社会や地域の中で一緒に暮らしていく事が福祉の役割として一番大切な事だと思っています」ということや「施設内では職員と利用者が中心で施設外の人たちと接する機会が少なくなってしまうのでボランティアや地域の方が施設に来て下さることにより新しい風を吹き込んでほしいです」との言葉にみなさん共感されていました。ディスカッションを交えながらの分かりやすい内容で、充実した講演会となりました。

イベント情報

【V ネットとよなか 総会 講演会】

「メンタルヘルスの予防と対策

～カウンセリングルームから

見えてきたこと～」

日 時 5月31日(月)
14時～16時
場 所 豊中市すこやかプラザ
1階 多目的室
講 師 豊中市健康相談室
シニア産業カウンセラー
濱田 多美代さん
(所属：日本産業カウンセラー協会)
定 員 50名(先着順)
申 込 市社協に電話またはFAX
(講演名・氏名・連絡先明記)
電話：6848-1000
FAX：6841-2388
その他 手話通訳があります

ボランティアメールをご活用下さい☆

メールでボランティアスクールの開催案内や、ボランティア募集情報などをお知らせします。携帯電話から簡単な受信登録をしていただくだけで、お知らせメールが届くようになりますので、まずは受信の登録をぜひしてみてください。

▶登録方法は…

①下記のQRコードを携帯電話で直接読み込んでいただき、空メールを送信して下さい。

※読み取りができない場合は、

toyonaka87@city.toyonaka.osaka.jp

のアドレスに件名「あんあんメール」と入力し、送信して下さい。

②本登録用のメールが届きましたら、案内に沿って登録を完了して下さい。

※注意※ドメイン指定などで受信制限の設定をされている方は、受信ができるように設定を変更してからメールを送信して下さい。

▶登録に関するお問合せは…

豊中市情報政策室
6858-2781



☺ボランティア保険のご案内☺

市社協では、安心してボランティア活動を行っていただけるように各種ボランティア保険の申し込みを受け付けています。

◎ボランティア・市民活動行事保険

◎移送中事故傷害保険

◎ボランティア活動保険

◎非営利・有償活動団体保険

詳しい内容につきましては、ボランティアセンターへお問合せいただくか、もしくは大阪府ボランティア・市民活動センターのホームページ(<http://www.osakafusyakyoo.or.jp>)をご参照ください。

編集後記



ボランティアセンター「ぶらっと」の移転から早くも1年が過ぎました。地域の皆様に支えられて、歩み育んできましたボランティア活動も世代を越えた新しい出会いと共に仲間の輪が少しずつ広がっています。これからも手と手を携え、支え合いの精神でより充実したボランティア活動をお届けしたいと思っています。ぜひ「ぶらっと」へお立ち寄りください。(さわやか)